

國府

郡

の御家に相續せられて、松の葉のちりうせず、まさきのかづらながくつたへなば、幾代の春秋をむかへさせ給ひなんと、萬民いはひ奉る、

〔川角太閤記三〕一肥前は鍋島加賀守居城に被遣候、

〔倭名類聚抄五郡〕肥前國略○中 小城乎岐國府

〔伊呂波字類抄比郡〕肥前國略○中 佐嘉國府

〔大日本史肥前郡三十一〕按今佐嘉郡國分村有府中地、而和名鈔云、在小城郡、蓋初置佐嘉郡、後徙小城郡也、

城郡也、

〔倭名類聚抄五郡〕肥前國管十一略○註 基肄 養父夜不 三根岑 神埼加無 佐嘉木 小城乎岐國府 松浦萬豆 高岐志 藤津布知 彼杵曾乃 高木多加

〔延喜式民部三〕肥前國上管 基肄久 養父ヤフ 神埼クマサキ 佐嘉サカ 小城コナキ

〔皇國郡名志〕肥前國十一郡 松浦 彼杵 高來 ○ 中略 右爲遠國

基肄 二ヶ村 筑界小郡

三根 三ヶ村 國中小郡 神埼 蓮池外二ヶ村 筑界小郡

佐嘉 佐賀 外二ヶ村 東海二向 佐賀ニ並ニ有、各小郡也、 養父 中原外二ヶ村 筑後川ニ添テ小郡

小城 牛津外一村 以上 六郡一處ニ有、各小郡也、

杵島 園木 塚崎 東ノ入江ヨリ北ノ入江ニ貫

松浦 五島 大川原 古ヤ 志佐 入田中 平戸 丸サウ泊

平戸 一島 也、五島ハ東島、西島、奈留島、瓢島、福江也、唐津地ハ筑

界ヨリ北海ニ出張、田平ノ地ハ唐津ト入江ヲ離テ平戸ニ向、筑

藤津 加島 東海 彼杵 嬉野 大村 長井 西海ニ向テ南張出ス

高來 島原 諫早 轟 水月 早サキ 陸續ニテ一方口如島ノ東ニ張出ス